

令和4年度矢沢地区文化祭(11月12・13日)

3年ぶりの開催となった文化祭は、矢沢振興センターを利用するサークルの方々を始め地域の皆様のご協力により展示品は例年通り700作品の出展がありました。どれもが素晴らしい作品で飾れました。

2日間で550人とコロナ禍の中で多くの方が来場、会場では生け花実習が催され皆さん楽しんでおりました。ステージ発表は7団体が日頃の練習の成果を発表、明老大学の受講生37名を始め会場は満席となり、皆さんは歌や踊りを堪能して帰られました。



第13回矢沢伝統芸能伝承大会(11月20日)

矢沢の誇る幸田神楽、胡四王神楽を始め6団体が素晴らしい演技を披露してくれました。伝承大会には実行委員会のメンバーを含め200名の来場者があり、3年振りの舞台に皆さん感動しておられました。



※ 文化祭と伝承大会の詳細については、12月15日発行の季刊「やまぼうし第42号」に掲載予定。

● 高齢者介護予防講座のお知らせ ●

今年も寒い季節がやってきました。この時期はどうしても体を動かす機会が減ってきます。矢沢地域振興会(高齢者対策事業部会)では、下記日程で幸(高)齢者介護予防講座を開催します。体を動かし心地よい汗を流しましょう。みなさんの参加をお待ちしております。

月 日	メニュー	講師名
1月18日(水)	ジャズ体操による健康づくり	佐々木 八重子
1月23日(月)	高齢者向けふれあいゲーム・頭の体操	立花 良子
1月30日(月)	3B体操を中心とした健康体操	高橋 良子
2月1日(水)	健康気功太極拳	佐々木 紀子
2月10日(金)	ラージャヨーガ	熊谷 りつ子
2月14日(火)	まんてん教室	晴山 弥子

◎会 場 矢沢振興センター 大広間

◎時 間 10時~11時30分

◎申 込 12月23日(金)までに矢沢振興センター(☎23-2171)へ
申込願います。(なお、募集は先着25名といたします。)

※ 参加される際は、マスクの着用をお願い致します。

○ 明老大学第9回講座 のお知らせ

日時: 12月14日(水)

10時~

会場: 矢沢振興センター
大広間

内容: DVD鑑賞会

「綾小路きみまろ
爆笑!エキサイトライブ」

- ・全力で笑いましょう!
- ・もちろんマスク着用で!!
- ・一般の方も大歓迎ですよ!



◎ お知らせ（情報提供）

キオクシア岩手株式会社では、高木地区の銀河モール西南側に建設工事作業員宿舎及びその附属設備を建築中です。この件について、現在判明している下記概要を高木小路自治会会長の澤田常夫さんから情報提供がありました。

地域の皆さんに情報としてお知らせします。

【工事中の建設工事作業員宿舎の概要】

- 1 宿舎 100 棟 — コンテナ型で1棟2室
- 2 利用人数 — 最大 180 名
- 3 使用開始日 — 年末から年越しになる見込み
- 4 使用期間 — 6～10年
- 5 附属設備 — 食堂、コインランドリー、飲料自販機、ごみ集積所等
- 6 通勤手段 — 専用バス利用
- 7 宿舎の管理体制 — 管理会社従業員 2～4名常駐



● 野田村に津波災害を学ぶ！

11月8日、各地区（9地区防災会）の代表22名の参加で「野田村」へ研修視察に行ってきました。当日は秋晴れの元、少し紅葉が過ぎた感じでしたが3時間かけて、震災後の防災のあり方を学んできました。講師は前花巻防災対策監の工藤剛氏の説明で、野田村は「津波」、矢沢地区は「水害」が脅威だと話されていました。その後、大津波記念碑（ほたて展望台）より、約3分の1が被災した野田村の復興した姿を観て、帰路に就きました。

（自主防災会連絡協議会事務局長・佐藤智明）



● 移動図書館車巡回日程(ぎんが号)

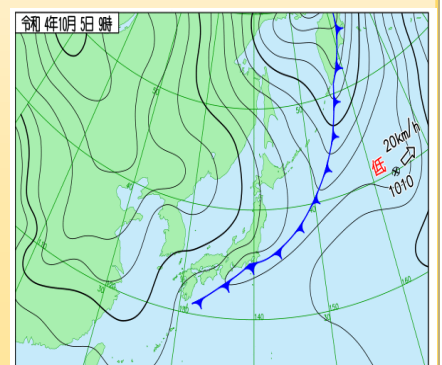
12/7 (水)	団地会館	13:30～13:50
12/14 (水)	高木観音	09:20～09:50
12/14 (水)	振興センター	10:05～10:35
12/14 (水)	やさわこども園	10:50～11:20

【事務局員のつぶやき】（雲を掴むような（話）！）

気象庁職員が気象観測で何が一番難しいかと言えば、雲型を決める時と思っています？ 雲形には10種類の雲がありますが、更にそれぞれの雲の形や組合せにより、下層雲（層雲・積雲・層積雲・積乱雲）に9種類の型、中層雲（高積雲・高層雲・乱層雲）に9種類の型、上層雲（巻雲・巻積雲・巻層雲）に9種類の型と全部で27種類の型があり、型を決めるのが非常に難しい。「雲を掴むような」という言葉がありますが、これはご承知の通り「要領を得ない」とか「掴み所がない」とか「漠然とした」という意味ですが、雲観測は全く雲を掴むようなもので、出来の悪い小生はよく先輩からお前は覚えが悪いと叱られたものです。露場（観測機器を設置している場所）で仰向けになり流れゆく雲をジーと見つめていた頃は、ある意味良き時代でもありました。典型的な雲は別として、混沌とした雲は自信が持てないまま経過してしまいました。10月5日、矢沢振興センターの上空に典型的な乳房雲（写真参照）が現れました。乳房雲は「ちぶさぐも」「にゅうぼうぐも」「にゅうぼううん」と呼び雲底からこぶ状の雲が垂れ下がっている状態のことです。雲底付近に下降流や渦が巻いている時に発生し、巻雲、巻積雲、高積雲、高層雲、積乱雲、層積雲に現れると言い、特に発達した積乱雲の底にできる雲として有名です。この写真の乳房雲は層積雲と思われます。層積雲は「うね雲」「くもり雲」とも呼び、曇天はもたしますが、降水は伴わない場合が多いという特徴があります（10月5日の花巻は降水量ゼロ）。ちなみに、山頂から眺める素晴らしい雲海は一樣に波打って、層積雲の場合が多いと言われており、梅雨時などに多く見られます。参考までに10月5日の天気図を掲載します。この天気図から乳房雲は寒冷前線通過後の寒気移流時に発生したと思われます。（花巻の日中の気温は明け方より下降、真夜中1時 17.7℃ ⇒ 昼 13時 13.1℃）



矢沢振興センター裏から東側を撮影（10月5日10時21分）



令和4年10月5日09時
地上天気図